

令和 7 年第 3 回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明

おはようございます。

本日、ここに令和7年第3回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席くださいます、誠にありがとうございます。

8月20日頃から県本土を横断した台風12号は県内各地で川の氾濫や家屋の浸水など大きな被害を及ぼしました。被災した方々には心よりお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い復旧復興をお祈りいたします。本市もその影響を受け21日深夜から翌明け方にかけて時間最大雨量約50ミリの大雨が続き、大雨洪水警報や土砂災害警戒情報などが発令されました。被害状況については、倒木や道路脇の土手が崩れるなど数件の被害が確認されましたが、人的被害や農作物への大きな被害は幸いにもありませんでした。昨日の台風15号についても、特段の被害の報告は受けておりません。先日の台風12号では深夜に警報が発令される事態もありました。市民の皆様には、全戸にお配りしてあります防災マップでお住い場所が危険地域の指定になっていないか、指定されていなくても近くに崖や河川などが危険な個所が無いか今一度ご確認いただき、起こりうる

危険など予測しておくことが重要です。併せて、気象状況の変化を早めに予測し、事前に命を守る行動がとれるよう日頃から注意していただきますようお願いいたします。

次に、お礼とご報告を申し上げます。

7月21日の「海の日」に、「ビーチクリーンアップ(海岸清掃)」を市内6か所の砂浜を中心に実施しました。市民の皆様や市内の建設業の皆様にもご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

8月24日に行われた鉄砲まつりは、関係者のご協力を賜り盛大に実施することができました。誠にありがとうございました。全国的にも猛暑が続いている中、姉妹都市をはじめ、多くの来賓の方々においでいただき、あらためて感謝の意を表するところです。

祭り参加者や観覧者数は、午前中の太鼓山・午後の南蛮行列、夜の演芸大会において昨年度並みとなる延べ10,000人以上の来場客数となったようです。

今年は火縄銃と火薬にスポットをあてて開催いたしました。インフォメーションセンターでは、バーチャルによる火縄銃のデジタル

試射体験や火縄銃の製造過程などをモニターに展示する催しも行いました。

演芸大会では、各方面からご出演をいただき幅広い世代で楽しむことができたと感じています。

ポルトガルギターとマンドリンのデュオ、マリオネットは「南蛮TRY」の歌詞に種子島の文字をおり込み、歌手^{かせぎみゆ}榎木美優さんの可憐な歌声で鉄砲伝来の歴史を歌い上げてくれました。

まつりのフィナーレを飾る花火大会では、火薬伝来にも歴史のあるこの島に全国から花火師を集め、九州最大級の約16,000発の花火を打ち上げました。観覧していた市民からはたくさんの歓声上がり、大変好評だったと感じているところです。

今年で56回を迎えた祭りでしたが、今後も先人から受け継いだ思いをしっかりと引継ぎ、後世に残していけるよう努めて参りたいと考えています。

地域支援課では、7月18日から7月21日の4日間にわたって、「西之表市ちいき学校」を開催しました。これは、令和3年度から令和5年度にかけて全校区で策定した地域実行計画のブラッシュア

ップを図る目的で実施したもので、島内外あわせて26名の参加者のほか、講師の山浦晴男先生はじめインストラクターの先生方、各校区長や集落支援員、住民ワークショップに参加していただいた地域の皆さんも含め、総勢70名ほどの御協力をいただき、滞りなく全日程を終了することができました。事業では、各校区に出向いてのフィールドワークや全体でのグループワークを通して、現在の地域の状況や課題等を整理し、新たな視点で様々な課題解決のアイデアを提案していただきました。

今後の地域づくり活動の参考にさせていただくとともに、引き続き、各校区と連携して、魅力ある地域づくりに取り組んで参りたいと思います。

教育委員会では、夏休み期間中、本市の掲げる「ひとりだちの教育」の具現化に向けて、県総合教育センターの6名の研究主事を招聘し、国語や算数、情報教育等の指導力の向上を図ることを目的に研修会を開催しました。

特に、情報教育においては、「ICTを活用した新たな学びのカタチ」をテーマとして研修を深めたところです。セカンドギガスク

ール構想により本年度更新したタブレットを存分に活用することで、子供たちの授業や家庭学習の在り方、そして、先生方の業務や研修の在り方を大きく変えるものと期待しております。

また、今年もしおさい留学生の交流会を開催いたしました。

クルージングや魚釣り、魚さばきなど、西之表市ならではの体験活動をしました。

こういった留学生同士の交流が、今後の留学生の確保にもつながるものと期待しております。

毎年開催されます全国離島交流中学生野球大会は今年で第16回を迎え、8月18日から21日にかけて沖縄県宮古島市で開催され、種子島中学校野球部12名が参加しました。1回戦で惜しくも敗れたものの、全国の離島中学生と野球を通じて交流が図られました。

建設課では、本年度から鴨女町団地の建替えに係る本体工事に着工しておりますが、現在A棟・B棟それぞれ建物の外観が徐々に見える形で順調に建築が進んでおります。A棟・B棟の完成は今年度末を予定しております。

次に、農業・畜産業の状況についてであります。

基幹作物であるさとうきびにつきましては、収穫予定面積が約 7 1 4 ヘクタールと昨年度と比較し約 1 0 ヘクタールの増となっており、生産量及び粗生産額の増加を期待しているところでございます。

さつまいもにつきましては、作付面積約 2 7 3 ヘクタールと昨年度と比較し約 6 8 ヘクタールの減となりました。なお、本年度のサツマイモ基腐病の発生状況は、昨年度並みに低い発生率で推移しております。

畜産につきましては、去る 8 月 2 8 日に西之表市畜産共進会が開催され、グランドチャンピオン賞に、現和校区の大田勉さんの「りんご 1 号」が輝きました。出品された各生産者の皆様の日頃の飼養管理技術の研鑽が見られた共進会でありました。

今年は、戦後 8 0 年という歴史的節目の年にあたります。本市も、かつて戦争の影響を大きく受けています。その歴史と向き合い、改

めて平和の尊さを心に刻むため、知覧特攻平和会館の協力を得て講演会を開催いたしました。また、鉄砲館においては、特別企画展「つながる記憶、未来へ」を9月28日まで開催しています。これらの取組が、次の世代への平和の架け橋となることを願っております。

馬毛島では、自衛隊基地の建設工事がピークを迎え、工事関係者の数も最大規模となっています。工期延長とともに、市民生活への影響も功罪相伴う中で、最善の道を探るよう努めて参ります。

私は、市民の皆様の不安の解消と期待の充足に関する材料を国に求める中で、未来に負の遺産を残さない最善の選択や政策推進を行っていく決意を表明させていただいております。

世代を超えて、真に豊かな暮らしを引き継いでゆくために、この問題とどう向き合い、行動していくのか、戦後80年の節目を迎えた今、市民の皆様にもあらためて考えていただきたいと思っています。

それでは、本日提案いたしました議案についてご説明いたします。

議案第57号から議案第58号は、人事案件で法令の規定により

議会の同意を得ようとするものです。議案第59号は、種子島中学校スクールバス購入に係る売買契約案件1件、議案第60号から議案第62号は条例の一部を改正する条例の制定、議案第63号は、令和7年度西之表市一般会計補正予算第3号についてであります。歳入歳出予算の総額に6億3,657万5千円追加し、予算総額を155億5,532万4千円とするものです。

予算の主なものについて御説明いたします。

歳入では、普通交付税が確定したことに伴い、地方交付税を1億3,511万円減額しております。また、令和5年度決算に伴う収支の確定により、繰越金に3億4,964万2千円を追加しております。

歳出では、補正予算第3号の財源調整等として積立金に3億9,171万4千円など、総務費に4億653万2千円、新規事業の市道緊急法対策事業など、土木費に5,958万3千円、屋内運動場改修整備事業や小学校グラウンド整備事業等の人件費や資材高騰など、教育費に7,929万5千円を追加しております。

議案第64号から第68号は、それぞれの特別会計に必要な補正

を行おうとするものであります。

次に、認定第1号から認定第7号までは、令和6年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算認定であります。

令和6年度一般会計及び特別会計の収支状況は、歳入決算額19億5億167万195円、歳出決算額188億6,970万4,393円で、歳入歳出差引額は6億3,196万5,802円、翌年度に繰り越すべき財源4,132万6千円を控除した実質収支額は、5億9,063万9,802円となりました。

一般会計の収支状況は、歳入決算額148億4,785万7,649円、歳出決算額144億335万343円、翌年度へ繰り越すべき財源4,132万6千円を控除した実質収支額は、4億318万1,306円であります。

前年後の決算額に対しまして、歳入は3.0%、歳出は4.3%それぞれ増となりました。

特別会計では、歳入決算額46億5,381万2,546円、歳出決算額44億6,635万4,050円で、歳入歳出差引額は、1億8,745万8,496円となり、翌年度へ繰り越すべき財源

はないことから、実質収支額も同額となりました。

前年度の決算額にたいしまして、歳入は0.8%、歳出は2.3%それぞれ減となりました。

なお、普通会計における経常収支比率は、89.5%で対前年度比5.0ポイント増加しております。健全化指標のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は発生しておりません。

実質公債費比率の3か年平均は、8.9%で、対前年度比0.1ポイント改善しております。

経常収支比率は増加しましたが、その他の指標は減少しており、財政の健全化は保たれております。

今後とも、財政の健全さを損なうことのないよう、最新の注意を払ってまいります。

報告第12号、令和6年度公益社団法人西之表市農業振興公社経営状況報告については、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告するものであります。

なお、会期中に追加議案の提出を予定しております。

以上、ご審議のほどよろしく申し上げます。

令和7年9月5日

西之表市長 八板 俊輔